

平成 22 年 4 月 8 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2007 ～ 2010

課題番号：19390148

研究課題名（和文） わが国における栄養サポートチーム（NST）の活動状況と稼働効果に関する全国調査

研究課題名（英文） Nationally investigation about activity and effect of Nutrition Support Team(NST) in Japan

研究代表者

東口 高志 (HIGASHIGUCHI TAKASHI)

藤田保健衛生大学・医学部・教授

研究者番号：40198974

研究代表者の専門分野：外科代謝・栄養学

科研費の分科・細目：境界医学・医療社会学

キーワード：(1) 栄養管理 (2) NST(栄養サポートチーム) (3) 全国調査 (4) 栄養療法 (5) 日本栄養療法推進協議会 (6) 栄養スクリーニング (7) 栄養プランニング (8) NST 稼働

1. 研究計画の概要

本研究は、わが国における NST 稼働施設のなかで第三者機関・日本栄養療法推進協議会 (Japan Council for Nutritional Therapy:JCNT) の NST 稼働認定を取得した 842 施設のうち本研究に参加の意向を有する施設を対象に、1)NST の稼働体制 (運営システム、稼働基準、施設内稼働体制、組織図、稼働開始日など)、2)NST のチーム構成、3)NST 対象症例の抽出法 (入院時スクリーニング)、4)抽出症例の栄養評価法 (二次スクリーニング)、5)栄養管理法の選択基準、6)栄養管理プランニング法、7)栄養管理実施方法、8)栄養状態・栄養管理法の再評価法、9)栄養管理の再プランニング法、10)栄養管理に関する医療安全管理体制、11)栄養管理に伴う合併症の評価法、12)退院時の栄養評価と当該栄養管理法の評価方法、13)患者栄養指導方法と実施時期、14) NST 活動に要する労働時間、15)NST 活動の outcome 評価法などを調査し、さらに各項目における対象患者数や活動状況、活動効果などを outcome として経時的に集計を行い、web によるデータベースへの入力を実施して、わが国における NST の活動状況とその効

果を prospective に検討するものとする。

2. 研究の進捗状況

日本静脈経腸栄養学会・NST プロジェクトの集計では、2010 年 2 月には少なくともわが国には 1578 施設に NST が稼働している。そこで、これら NST 稼働施設のなかで、第三者機関・日本栄養療法推進協議会 (Japan Council for Nutritional Therapy:JCNT) の NST 稼働施設認定を修得した 846 施設 (第 1 回認定:657 施設 + 第 2 回認定:189 施設) に対して倫理的配慮を含めた上で本研究への参加を募り、参加が可能な施設を抽出する。既に研究初年度の 19 年度には、コンピューターネットワーク上で参加施設の登録やデータ入力および集計などを可能とする専用 web を構築した。次いで平成 20 年度には本研究の趣旨と方法、倫理的配慮などを含め各施設での本研究への参加が容易に行えるように種々の書類やツールを作成し、NST 稼働施設のうち第三者機関である日本栄養療法推進協議会 (Japan Council for Nutritional Therapy:JCNT) の第 1、2 回 NST 稼働施設認定を取得した 846 施設を対象に参加を呼びかけ、512 施設から参加の申し

出でが得られている。調査は6か月毎のリアルタイムに実施し、第1回、第2回の調査結果を集計している。平成21年度には、JCNTの第3回NST稼働施設認定を取得した71施設にも参加を呼びかけ、現在25施設から参加の申し出でが得られている。

3. 現在までの達成度

達成区分③やや遅れている

1)NSTの稼働体制(運営システム、稼働基準、施設内稼働体制、組織図、稼働開始日など)、2)NSTのチーム構成、3)NST対象症例の抽出法(入院時スクリーニング)、4)抽出症例の栄養評価法(二次スクリーニング)、5)栄養管理法の選択基準、6)栄養管理プランニング法、7)栄養管理実施方法、8)栄養状態・栄養管理法の再評価法、9)栄養管理の再プランニング法、10)栄養管理に関する医療安全管理体制、11)栄養管理に伴う合併症の評価法、12)退院時の栄養評価と当該栄養管理法の評価方法、13)患者栄養指導方法と実施時期、14)NST活動に要する労働時間、15)NST活動のoutcome評価法などを調査し、さらに各項目における対象患者数や活動状況、活動効果などをoutcomeとして経時的に集計を行い、webによるデータベースへの入力を実施して、わが国におけるNSTの活動状況とその効果をprospectiveに検討している。

第1回調査(平成20年1月～平成20年3月)、第2回調査(平成20年4月～平成20年9月)、第3回調査(平成20年10月～平成21年3月)、第4回調査(平成21年4月～平成21年10月)までのデータベースへの資料集積は順調に進んでおり、重要項目から解析を実施している。

データベース資料が多く解析にかなりの時間を有する可能性があり、予定よりやや遅れているように考えている。

4. 今後の研究の推進方策

最終的に、第1回調査(平成20年1月～平成20年3月)、第2回調査(平成20年4月～平成20年9月)、第3回調査(平成20年10月～平成21年3月)、第4回調査(平成21年4月～平成21年10月)に加え、第5回調査(平成21年10月～平成22年3月)、第6回調査(平成22年4月～平成22年10月)まで施行し、その結果を、重要項目を含め、報告する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)
該当なし

[その他]
ホームページ

<http://www.nst.jp/>